

フ、行程七里

◇十二月九日 晴

連日ノ行軍故行程ヲツメ、六里強ニシテ碑城鎮ニ宿營ス、田舎ナガラ大村ニシテ風呂ニ入ル

◇十二月十日 晴

連日ノ行軍ニテ隊ノ疲労大ナリ、足傷患者モ少カラズ

師団命令ヲ昼頃丁度來合ハセタル伊藤高級副官ニ聞キ、鎮江迄頑張りテ泊ス、初メテ電灯ヲ見ル

鎮江ハ遣唐使節阿倍仲麻呂僧空海ノ渡來セシ由緒ノ地、金山寺ニ何ントカノ大寺モアリ、サスガ大都會ニシテ仙台ナドハ足許ニモ寄レズ

◇十二月十一日 晴

沼田旅團來ル故、宿營地ヲ移動セヨトテ、午前一〇・〇〇過ぎヨリ西方三里ノ高資鎮ニ移動ス

山ト江トニ挾マレタル今マデニ見ザル僻村寒村、オマケニ支那兵ニ荒サレ米ナク、食ニ困リテ悲鳴ヲ挙ゲ

◇十二月十二日 晴

総出ニテ物資徵發ナリ、然ルニ午後一・〇〇頃突然歩兵第65聯隊ト山砲兵第III大隊、騎兵第17大隊ヲ連レテ南京攻撃ニ参加セヨトノ命令、誠ニ有難キコトナガラ突然ニシテ行李ハ鎮江ニ派遣シアリ、人ハ徵發ニ出デアリ、態勢甚ダ面白カラズ

併シ午後五・〇〇出發、夜行軍ヲナシ三里半余ノ四蜀街ニ泊ス、随分ヒドキ家ニテ南京虫騒

ギアリ

南京攻撃

◇十二月十三日 晴

例ニ依リ到ル所ニ陣地アル地帯ヲ過ギ、晴陽鎮ヲ經テ前進、霞棲街ニ泊スル心算ナリシ所燒カレテ適當ノ家ナク更ニ若干前進中、先遣セシ田山大隊午後一時烏竜山砲台ヲ（騎兵第17大隊ハ午後三・〇〇）占領セリ、南京ハ各師団掃蕩中トノ報アリ、直ニ距離ヲ伸シテ邵家塘ニ泊ス

◇十二月十四日 晴

他師団ニ砲台ヲトラルルヲ恐レ午前四時半出發、幕府山砲台ニ向フ、明ケテ砲台ノ附近ニ到レバ投降兵莫大ニシテ仕末ニ困ル

幕府山ハ先遣隊ニ依リ午前八時占領スルヲ得タリ、近郊ノ文化住宅、村落等皆敵ノ為ニ燒カレタリ

捕虜ノ仕末ニ困リ、恰モ発見セシ上元門外ノ学校ニ收容セシ所、一四、七七七名ヲ得タリ、斯ク多クテハ殺スモ生カスモ困ツタモノナリ、上元門外ノ三軒屋ニ泊ス

◇十二月十五日 晴

捕虜ノ仕末其他ニテ本間騎兵少尉ヲ南京ニ派遣シ連絡ス
皆殺セトノコトナリ
各隊食糧ナク困却ス

◇十二月十六日 晴

第13師団高級副官 歩兵中佐 伊藤平八

相田中佐ヲ軍ニ派遣シ、捕虜ノ仕末其他ニテ打合ハセヨナサシム、捕虜ノ監視、誠ニ田山大隊大役ナリ、砲台ノ兵器ハ別トシ小銃五千重機輕機其他多数ヲ得タリ

◇十二月十七日 晴

晴ノ入城式ナリ

車ニテ南京市街、中山陵等ヲ見物、軍官学校ハ日本ノ陸士ヨリ堂々タリ、午後一・三〇ヨリ入城式祝賀会、三・〇〇過ギ帰ル

仙台教導学校ノ渡辺少佐師団副官トナリ着任ノ途旅団ニ来ル

◇十二月十八日 晴

捕虜ノ仕末ニテ隊ハ精一杯ナリ、江岸ニ之ヲ視察ス

◇十二月十九日 晴

捕虜仕末ノ為出発延期、午前総出ニテ努力セシム
軍、師団ヨリ補給ツキ日本米ヲ食ス

(下痢ス)

移動

◇十二月二十日 晴

第十三師団ハ何故田舎ヤ脇役方好キナルニヤ、既ニ主力ハ鎮江ヨリ十六日揚州ニ渡河シアリ、之ニ追及ノタメ山田支隊モ下関ヨリ渡河スルコトトナル

午前九・〇〇ノ予定ノ所一〇・〇〇ニ開始、浦口ニ移リ、国崎支隊長ト会見、次イデ江浦鎮

ニ泊ス、米屋ナリ

◇十二月二十一日 晴

午前一〇・〇〇出発、道路到ル所橋落チシ為メ渉ラズ、江北ノ村落一変、蒙古ノ觀アリ、土ト藜葦キニテ牛糞ヲ壁ニ塗セリ

東葛鎮ニ泊ス、物資モナシ、又支那兵ノ焼キタル所多シ

滁阜駐留

◇十二月二十二日 晴

午前九・〇〇出発、相変ラズ丁寧ニ破壊セル橋梁ニ時間ヲ過シ、烏衣街ニテ警備中隊ヲ歩兵第65聯隊ト歩兵第104聯隊ト交代シ、約一里前方迄師団ノ車ニ迎ヘラレ午後三・三〇頃滁阜ニ着、師団司令部ニ到ル、夜師団司令部ノ歓迎会ニ列ス

◇十二月二十三日 雨

滞在シテ師団トノ打合ハセ、諸整理ニ当ル、前夜留守師団ノ小宮參謀来リ色々話ス(穰ニ手紙ヲ見ル)

新任地朱竜礮ハトテモヒドキ寒村ニシテ、宿営力モ物資モナキ故、車輛ノ通ズルマデ而シテ二十六日ニハ師団ノ慰靈祭アルコトトテソレマデ当地ニ留ルコトトス

久振リノ雨ナリ、小宮參謀ニ手紙ヲ托ス

◇十二月二十四日 午後ヨリ晴

終日滞在、十日以来ノ日誌ヲ整理ス、新年ノ「東日」ニ出ス色紙ヲ書カサレタリ、「尽忠報